

# 復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

<b>団体名</b>	あぶくま信用金庫
<b>取組名称</b>	復興事業に取組む取引先への複合支援事例
<b>取組概要</b>	<p>あぶくま信用金庫の取引先であるT社(ホテル業)は、福島第一原発の15km圏内である富岡町に復興拠点となるホテルを建設するため、2016年5月に同町内で会社経営や個人事業を営んでいた有志8名が設立した企業である。</p> <p>同ホテルは、2017年4月の同町における一部避難指示の解除、同年10月のJR富岡町の再開を受けて加速する福島第一原発にかかる廃炉関連事業の従事者、福島イノベーションコースト構想にかかる研究施設の従事者、および一時帰宅の避難住民等の宿泊需要に対応し、地元の復興の拠点となるホテルとして、同町内で会社経営や個人事業を営んでいた有志8名が建設を計画し、当金庫が運営するあぶくま元気塾の卒業生である代表者から当金庫に相談があった。</p> <p>当金庫は、本計画が、復興に向けて同町が進めるスモールタウン構想にも合致しており、被災地の復旧・復興に貢献できると判断し、福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の利用の提案やプロパー融資による資金支援を行った。</p>
<b>取組成果</b>	<p>同社は、2017年10月の開業以来、安定的に稼働している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>《ホテルの外観》</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>《ホテルのエントランス》</p>  </div> </div>
<b>その他</b>	—
<b>URL等</b>	—